

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 竹末 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

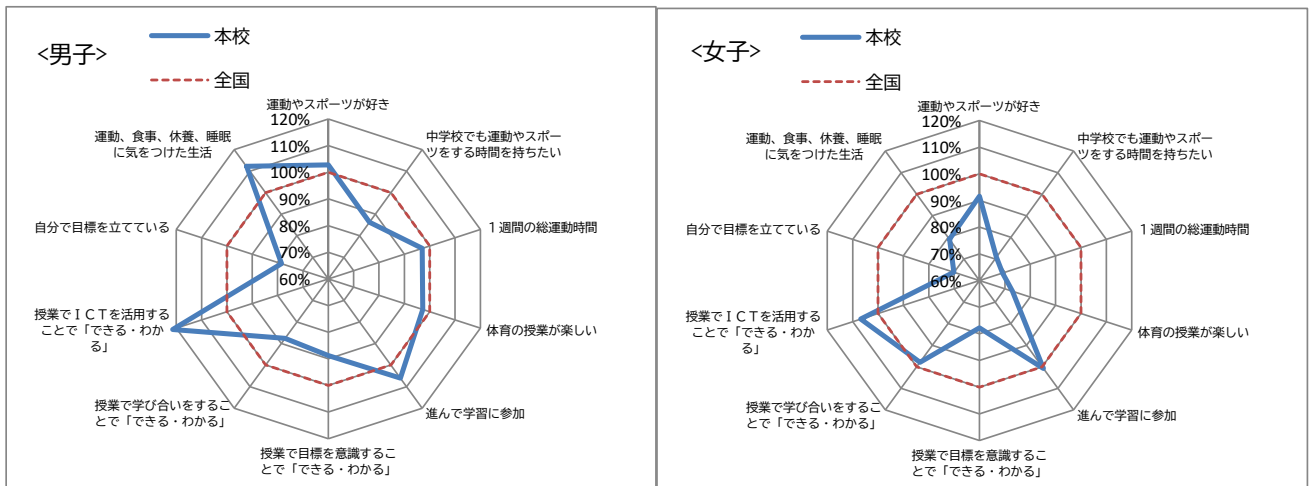
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目	○		○	○	○		○		○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目	○								

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

「授業でICTを活用することで、できる・わかる」という質問項目では、男女とも全国平均を大きく上回っている。これは、日頃より、体育に限らず、授業におけるICT活用を推進してきた成果だと考える。

「自分で目標を立てている」という質問項目については、男女ともに全国平均を大きく下回っている。体力テストや運動能力の向上に、目標を定めている児童が少ないことが伺える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体力テストを実施するにあたっては、昨年の自分の記録を参照し、全国平均の記録も把握した上で、個々の目標を定めるようにする。日々の授業でも、一時間一時間の目標を意識して、「できる・わかる」ように活動を計画する。一年間を通して、授業等で個々の体力の向上を図るようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

個々が目標をもって取り組む「持久走週間」や学級単位で取り組む「長縄週間」、また、縦割りグループで外遊びなどに取り組む「縦割り遊び」などを計画し、児童が進んで運動に取り組めるように工夫した。その結果、休み時間になると、進んで運動場に出て遊ぶ児童が増えた。これらの取組は、学校通信及び学年通信等で、保護者に伝えている。今後も活動を工夫し、運動が好きな児童を少しでも増やしていきたい。